

サーバス北海道支部会報

2008,3,10 発行

発行人 支部長 吉崎 収二

はじめに

本来ならば、昨年の6月ごろには会報の続報を発行するところでしたが、ついついこの時になってしまいました。約束を履行できなかったことをお詫びしたいと思えます。今回はこの7月に開催されるサミット関連を中心にいたしますので参考にさせていただければ幸いです。

G8 洞爺湖サミットについて

7月7日～9日に開催が予定されております。混迷する世界の状況、地球の環境をふまえて先進国としての役割を十分に発揮してほしいものと祈念しております。ホスト役の北海道のサーバスの支部としても無事に当初の目的が達成されることを期待しております。

つきましては、今回までの開催におきましていろいろと紆余曲折がありましたのでお知らせいたします。参考にさせていただきたいと思えます。

まず、首脳会議のほかに各種担当大臣の会議が日本各地で順次開催されます。その集大成として首脳会議が洞爺湖で開催されます。この首脳会議については、2000年日本・沖縄、2002年カナダ・カナナスモス、2004年アメリカ・シーアイランド、2006年ロシア・サンクトペテリブルクでは、平穏でしたが、下の表にあるように世界の反グローバリズム運動勢力が抵抗活動を展開しております。北海道はアイヌの人々の中に既にサミット反対を表明しているグループもあります。また、昨今の日本の調査捕鯨に対する実力行使や昨年11月の韓国のFTA会議での1万人規模のデモなど心配な状況が想定されます。今回は特にG8以外で韓国の大統領 イ・ミョンバク氏の出席が予定されていることでもありますので配慮が必要だと思えます。

4月5～6	東京	開発大臣会議
5月11～13	新潟	労働大臣会議
5月24～26	神戸	環境大臣会議
6月7～8	青森	エネルギー大臣
6月11～13	東京	司法・内務大臣
6月13～14	大阪	財務大臣会議
6月26～27	京都	外務大臣会議
7月7～9	洞爺湖	首脳会議

2001	伊・ジェノバ	20万人のデモ、170人拘束、1人死亡、300人負傷
2003	仏・エビアン	周辺都市に反対派10万人集結、500人身柄拘束
2005	英・グレンイーグルズ	20万人のデモ90人拘束開催中ロンドンで同時爆破テロ52人死亡
2007	独・ハイリゲンダム	8万人のデモ(含む日本人1名)1000人拘束400人以上負傷

- ・ それでは具体的には？

過去の事例でもお知らせいたしましたように、例えば沖縄の時のように全く平穏なときもありましたので、抵抗活動が確実に起きるとは言い切れません。

次に若干エスカレートして痛ましいことながら死者が出たこともありますが、これは明らかに世界各国から集まった人たちの抗議行動ですので、許される範囲での整然としたアピールは、当然のことながら認められるべき表現の自由だと思われれます。そのようなことから、昨年開催されましたドイツでは、実際に400人ももの負傷者が出るほど激しい行動でしたがどのように対処されたか、念のために対応を聞いて見ました。しかし、サーバスドイツとしてはこのことに関しては、正式な意志表明は何もしなかったということです。すなわち、サーバス活動とは無関係な諸団体の行動であること。サーバスメンバーであるそのような人々を受け入れるかどうかは全く個人的な判断に基づいているからということでした。全く同感するところです。したがって北海道支部としても特別な意思表示をしないことにいたします。このことにつきましては、日本サーバスも了解してくださることと思います。もしかしたらこの機会に多くのトラベラーが訪問されるかもしれませんが、個々の事例で、もし心配なことがありましたら個人的にご相談ください。

その後のニセコの情報

今年の特徴は、平日は、半分以上が外国人というほどです。例年に増して「キッズ」4, 5歳位の幼児のスキースクールが大賑わいでした。たまたま話しかけるとアメリカ、イギリス、スイス、中国等豪州以外からも少しずつ増えてきています。今年から千歳とケアンズの直行便がなくなり成田からの乗り継ぎになりましたが、話してみると不便さは感じていないようです。成田乗り継ぎになりニセコだけでなく新潟方面へも行くようになったという報道も耳にしました。

更に今年外国人好みの傾向が加速してきました。例えば、レストランのメニューは、洋風のものが目立ち、外国人で一杯になり、そのレストランはまるで外国のスキー場にいる雰囲気です。一方で、別のレストランのラーメンの量が増え値上がりしました。我々にはかなり多すぎます。また周辺の宿泊施設のスクラップ アンド ビルドも進んでいます。そもそもこの地域は農業の傍ら冬期間だけの格安な田舎風の施設がほとんどでした。しかし最近外国人が増え高齢化した経営者はその変化についていけず、土地の急激な値上がりもありどんどん外国人への買収が進んでいます。ニセコは日本一建築ラッシュかもしれません。建物の高層化も進み、最も人気のある比羅夫地区を有する倶知安町は景観保護のための高さ制限を決定しました。つい先日駐車場で話しかけた外国人は、既にニセコに住んで7年、不動産業を営んでいるカナダ人の30歳前後の青年でした。まさに全世界から愛され、より日本的・ニセコ的な味わいを醸し出せるリゾートづくりこそがサミットの究極の姿かもしれません。

2008年度支部会議について

G8サミットが終了した段階で北海道支部会議を開催いたします。

- ・ 日 時 7月27日(日) 11時 ~ 14時ごろまで
- ・ 会 場 蘭越町 港町 吉崎の別荘で行います。
- ・ 詳細は後日ご案内いたしますので、予め予定を空けておいていただければ幸いです。